

南あわじ市 平成 20 年度 事務事業評価シート 新規 継続

(事務 組織 管理用)

I 基本事項

整理番号

376

事業名	介護保険特別事業勘定繰出金(事務費)		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	長寿福祉課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3005			項	社会福祉費・1項
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	介護保険運営費・10目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり__元気あふれ__住んで快適なまちづくり__			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい__育てたいまち(子育て)			
	施策目標	すべての人が安心してまちに出て、日常生活や地域での交流が行える環境をつくる			
該当する事業について「 」を選択		一般事務		組織運営	管理

II Plan (計画・事務内容)

事務又は管理の内容	目的	対象(誰を・どのような状況の人を) 65歳以上の高齢者及び40歳以上65歳未満の方で要支援・要介護認定者 対象人数(人) 14,196 意 図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 介護を必要とする高齢者等の個々の状況に応じたサービスを提供することにより、安心して生活ができるよう介護保険事業を円滑に実施する。 また、要介護者を増やさず、重度化させない取り組みやサービスの適正化に努める。
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 高齢者を対象とした介護予防事業の実施及び適正な介護認定並びに介護サービスの利用について広報またパンフレット等で広く知らせる。また、事業所指導や介護支援専門員の研修等を実施し、介護保険事業の円滑な運用を図る。
	事務又は管理の内容	(具体的に実施した事務又は管理の内容など) 介護サービスの適正な利用と事業運営に要する事務として、被保険者の資格得喪、介護保険料の賦課徴収、介護認定審査に係る事務及び給付管理事務等を実施し、それに要した費用について一般会計からの繰出金を充てる。
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 介護保険給付事業、それに伴う事務事業および認定審査会事業は継続事業である。 平成16年度までの第1号被保険者の介護保険料基準額については、総給付見込額と被保険者数等によって各町ごとに算出されていたが、平成17年度の基準額は市で新たに算出し、普通徴収の納期についても年6回とした。	

Ⅲ Do (活動内容、投入資源・コスト)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
資源配分 (インプット)	直接事務費 (千円)	47,405	38,925	49,333	37,540
	報酬	7,853	6,755	7,323	7,120
	需用費	2,931	2,397	2,750	2,470
	役務費	17,719	14,797	15,135	15,100
	委託料	14,356	8,380	14,112	7,100
	その他	4,546	6,596	10,013	5,750
	財源 (千円)				
	国	1,008	812		
	県				
	起債				
	その他	193	107	27	27
	一般財源[A]	46,204	38,006	49,306	37,513
	人件費(正規職員)[B] (千円)	47,292	47,663	47,780	47,500
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	27.9
	事業量1(事業に要した日数)	264	264	285	284
	事業量2(事業に要した人数)	6	6	6	6
	年間経費([A]+[B])	93,496	85,669	97,086	85,013
「目的」対象一人当り経費 (千円)	6.6	6.0	6.8	6.0	
受益者人数(14,196) 1人当り経費(千円)	6.6	6.0	6.8	6.0	
経費に関する補足説明					

Ⅳ Check (事業の自己評価・一次評価、コスト分析)

		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度					
事務又は管理経費	直接事業費対前年度増減率	%	-	17.9	26.7	23.9					
	(事務又は管理経費に係る問題点・課題等) 要介護認定において、現に介護サービスを利用していないが、万が一のためにという考えから認定の更新を繰り返している事例があり、認定に係る費用の増につながっている。 なお、平成18年度からは要介護者で状態の安定している方については更新日を最長24ヶ月とした。このことにより認定に係る一連の経費は軽減される。					(自己評価) 4					
人件費	人件費対前年度増減率	%	-	0.8	0.2	0.6					
	(人件費に係る問題点・課題等) 平成20年度における給与費については6名の配置である。 合併以降時間外勤務については、減少してきたが、多いことに変わりはない。平成19年度に業務の分散、20年度に介護保険料における普通徴収事務が収税課に移管されたため、夜間徴収等の時間外勤務については減少される。					(自己評価) 4					
総合評価	自己評価をふまえた現状分析										
	介護保険事業運営の重要な財源である保険料の滞納が毎年増える状況にあり、常習化防止のための収納対策が必要である。 また、認定調査及び介護サービスについては、被保険者への周知、提供事業者への指導等を積極的に実施し、適正な介護保険運営の実施に今まで以上に重点を置く必要がある。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">評価グラフ</p> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <caption>評価グラフ</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接事務費</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> </div>				項目	評価	直接事務費	4	人件費
項目	評価										
直接事務費	4										
人件費	4										

V Action&Plan (改善の内容)

	平成21年度にできる改善・改革	平成22年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 業務改善 <input type="checkbox"/> 人員配置の見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 業務改善 <input type="checkbox"/> 人員配置の見直し
	<p>平成19年度より介護認定調査委員を3名体制とし、認定調査業務委託料の減額を図ると共に介護認定の適正化に努めた。また事業所等の連絡会を開催し、集団指導等介護保険給付の適正に努めた。</p> <p>今後も新規申請者については市職員による調査を実施することを基本とするとともに事業所等の実地指導等を強化し介護給付費適性化に努める。</p>	<p>市職員による認定調査を充実化することにより、介護認定の適正化を図る。また事業所においては、実地指導等を行い給付費の適正化を図る。</p>
具体的な改善方法 (現状維持以外の場合)	事務又は管理経費に関すること	
	<p>認定調査及び介護サービスについての被保険者への周知、提供事業所への指導等を積極的に実施し、介護保険運営の適正化を図ることにより事務費の軽減を図る。</p>	<p>認定調査及び介護サービスについての被保険者への周知、提供事業所への実施指導等給付費適正化事業を定着化させることにより事務費の軽減を図る。</p>
	人件費に関すること	
	<p>介護保険料の普通徴収が収税課に移管されたことにより、夜間徴収等の時間外勤務は削減される。また要介護認定者の有効期間を最長24か月にしたことにより、認定更新に係る経費は軽減される。</p>	<p>認定調査及び介護サービスについての被保険者への周知、提供事業所への実施指導等給付費適正化事業を定着化させる、また認定調査の適正化を強化することにより、事務量の軽減を図り人件費の抑制を図る。</p>